

中東秩序は力で支配されるか

外交

Vol. 97 2026 May/Jun.



今月の表紙

ホルムズ海峡を米国とイランの双方が封鎖し、世界経済を人質に対峙する。国際秩序大変化のきざしだろうか。(ABACA PRESS / 時事通信フォト)

池内恵(東京大学)

第2次イラン戦争「危機」の構図 非対称戦争と「力の支配」の実像

座談会・阿南友亮(東北大学) × 岩間陽子(政策研究大学院大学) × 久保文明(東京大学) × 齊藤貢(元駐イラン大使)

イラン集団指導体制と「失われた機会」

鈴木一人(東京大学)

日本外交「プランA」超えの試練

秋田浩之(日本経済新聞)

ホルムズ海峡「封鎖」後のエネルギー情勢

秋月悠也(JOGMEC)

核秩序がさらされる「二重の危機」

秋山信将(橋大学)

AI・ドローンとイラン戦争の帰趨

佐藤丙午(拓殖大学)

米国の対外軍事介入と国内世論

西山隆行(成蹊大学)

ファイリピン経済「非常事態宣言」下の対応と構造改革

柏原千英(シエトロ・アジア経済研究所)

欧州経済再エネ活用と防衛費増額で混乱を押しこめられるか

田中理(第一ライフ資産運用経済研究所)

「静かな仲介者」の役割狙う中国

青山瑠妙(早稲田大学)

軍事行動にすくむインドのバランス外交

伊豆山真理(防衛研究所)

次の介入はキューバか?

山岡加奈子(シエトロ・アジア経済研究所)

中東における日本外交の貢献とは

東大作(上智大学)

高市・トランプ日米首脳会談の成果と課題

山口航(関西大学)

「法化」する中国の対日経済制裁

渡邊真理子(金沢学院大学)

国共トップ会談は台湾政治に影響するか

門間理良(拓殖大学)

北朝鮮党大会の成果と中朝関係

堀田幸裕(霞山舎)

バングラデシュ「第2の独立」への政治改革

日下部尚徳(立教大学)

パキスタン・アフガニスタン対立と「二つのタリバン」

山根聡(大阪大学)

変わらぬミャンマー軍事政権から親軍政権へ

根本敬(上智大学)

16年ぶりの政権交代「オルバン後」のハンガリー

山本直(日本大学)

スーダンの終わらない内戦

飛内悠子(宮城大学)

FOCUS

東アジア情勢の変化と日本

TREND 2026

148 144 96

連載

外務省だより

ブックレビュー

江崎智絵(防衛大学校)

新刊案内

153 150

英文目次

INDEX